

平成 24 年度 三重大学教育満足度調査
報告書
(概要版)

高等教育創造開発センター
教育評価部門

第 I 部 学部生対象

1. 調査目的

三重大学の中期目標を達成するための措置として、平成 24 年度終了時の学生の満足度の実態を把握し、今後の三重大学の教育改善に資するための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査概要

- (1) 調査対象 三重大学に在籍する休学者を除く全ての学部生
- (2) 調査時期 平成 24 年 12 月～平成 25 年 1 月（一部の学部のみ 4 月まで延長）
- (3) 調査方法 質問紙調査と三重大学ウェブ調査システムによる調査（以下、ウェブ調査と表記）の 2 種類の方法のうち、学生がどちらか一方を選択して回答した。
- (4) 分析対象者 有効回答者数 1,684 名（27.4%）から、所属が不明な学生と在籍年数が 5 年目以上の学生（医学科は 7 年目以上の学生）を除いた 1,647 名を分析対象者とした。

表1.2.1 分析対象者数

	人文		教育				医		工					生物資源			合計		
	文化学科	社会科学科	学校教育課程	情報教育課程	生涯教育課程	人間発達科学課程	医学科	看護学科	機械工学科	電気電子工学科	分子素材工学科	建築学科	情報工学科	物理工学科	資源循環学科	共生環境学科		生物圏生命学科	
在籍年数	1年目	44	30	44	13	7	14	10	86	46	61	14	2	52	35	4	10	9	481
	2年目	21	38	34	2	10	13	5	65	51	8	13	3	47	3	12	13	14	352
	3年目	13	35	34	6	5	3	4	42	81	53	81	4	8	3	7	29	5	413
	4年目	20	31	42	2	4	3	14	34	38	35	36	13	19	22	18	22	47	400
	5年目	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	6年目	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
小計 (学部ごと)	98	134	154	23	26	33	34	227	216	157	144	22	126	63	41	74	75	1,647	
	232		236				261		728					190					

3. 結果

結果について

三重大学の教育に関する 45 項目について、平均値と満足群を算出した。

- (1) 平均値：満足度を表す 6 段階評価の中からあてはまるものを 1 つ選択させた。「非常に不満」を 1 点、「不満」を 2 点、「やや不満」を 3 点、「やや満足」を 4 点、「満足」を 5 点、「非常に満足」を 6 点とし、平均値を算出した。平均値が高いほど、満足度が高いことを表す。各項目に対して学生が経験したことがない場合や知らない場合のために満足の 6 段階とは別に「回答できない」という選択肢を設けた。集計の際、このデータについては、欠損値（無回答）と同様に扱った。
- (2) 満足群：6 段階評価のうち、「やや満足」もしくは、「満足」、「非常に満足」のいずれかに回答した学生の割合を満足群とした。

3.1 大学全般についての満足度

「大学全般カテゴリ」では、「2. 三重大学の研究水準について」と「4. 事務職員の窓口での学生対応」の平均値が非常に高く、80%以上の学生がこれらの項目に対して満足していることが示された。

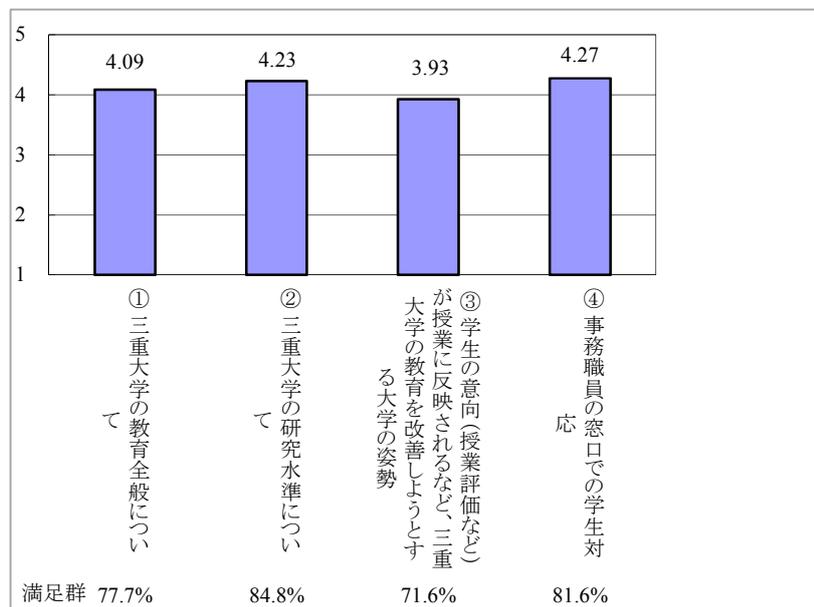


図1 大学全般についての満足度

3.2 学外との連携についての満足度

「学外との連携カテゴリ」では、「5. 留学支援や国際交流」と「6. 現場体験実習やインターンシップなどの機会」の両項目とも平均値が高く、80%以上の学生が学外との連携に対して満足していることが示された。

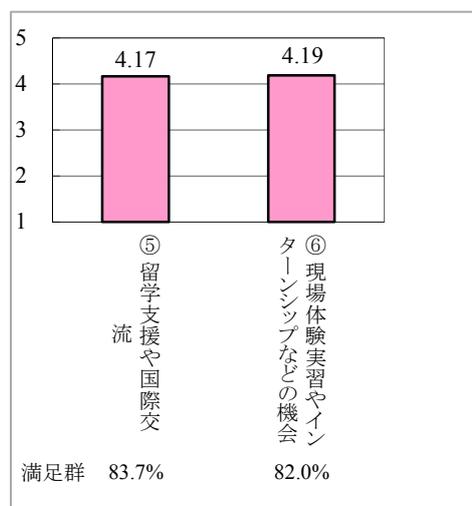


図2 学外との連携についての満足度

3.3 進路支援についての満足度

「進路支援カテゴリ」では、「7. 職業意識を高めるための教育的支援や就職に役立つような学習に対する支援」や「8. 就職活動に役立つ就職情報提供」、「10. 社会に貢献できる力を養う教育の提供」について、平均値が4点以上と満足度がやや高かった。

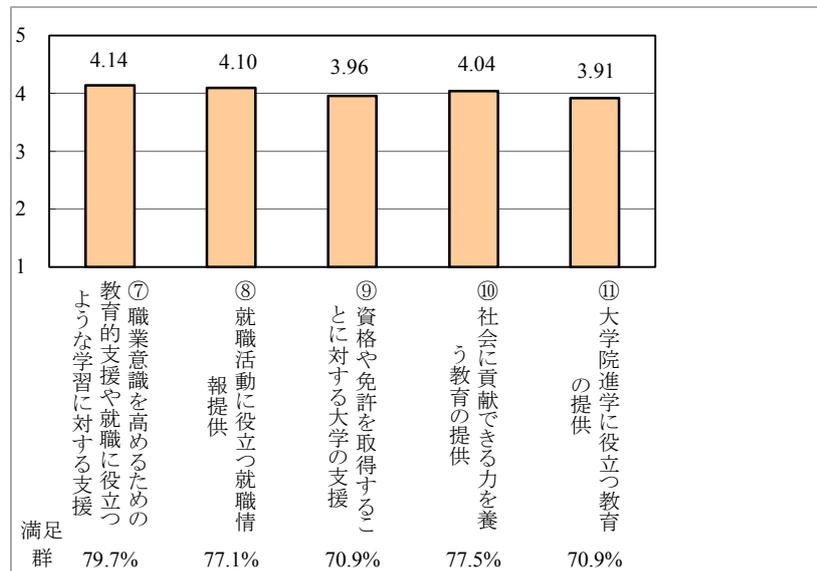


図3 進路支援についての満足度

3.4 学習環境と施設・設備についての満足度

「学習環境と施設・設備カテゴリ」では、満足度の高い項目が多かった。「13. 大学内で自由に使える情報機器の充実」は、平均値が最も高く、また「15. 視聴覚機器などの教室内の教育設備」や「16. 実験設備・器具や共同利用機器などの教室内の教育設備」、「17. 教室の広さや照明などの環境」、「19. 学内の安全管理システム」は、80%以上の学生が満足していることが示された。一方、「21. 駐輪場の設置場所や設置数」は、平均値が3.55点（中点は3.5点）と全項目間で最も低く、満足に感じている学生は約半数であった。つまり、残りの半数の学生は不満に感じているということである。

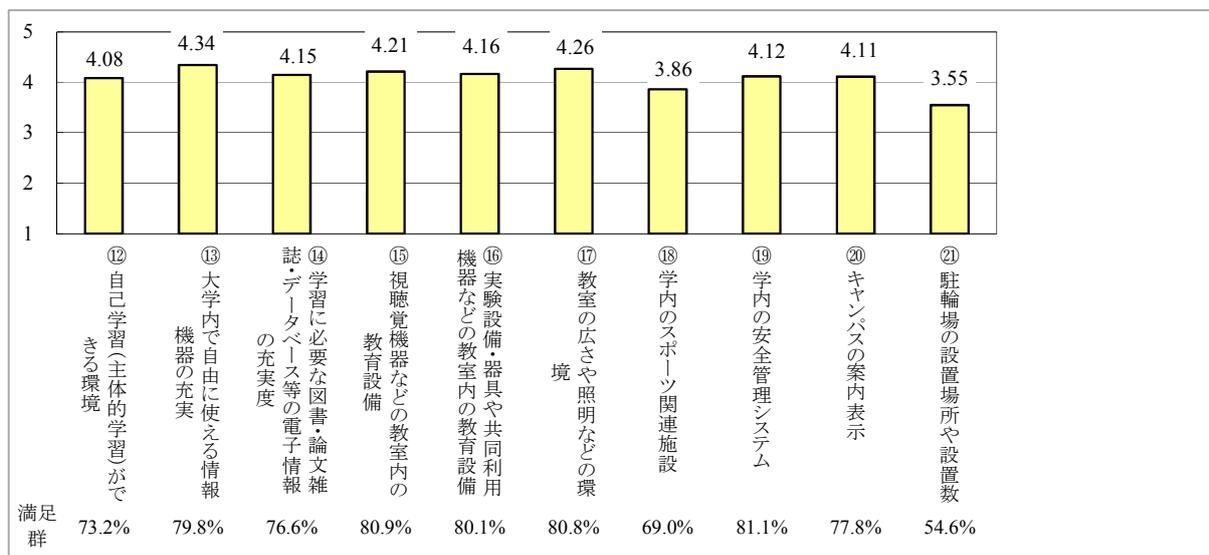


図4 学習環境と施設・設備についての満足度

3.5 評価・カリキュラムについての満足度

「評価・カリキュラムカテゴリ」では、多くの項目で70%以上の学生が満足していることが示された。カテゴリ内の項目では、「25. 受講したい授業が受けられるシステム」の平均値が最も高かった。

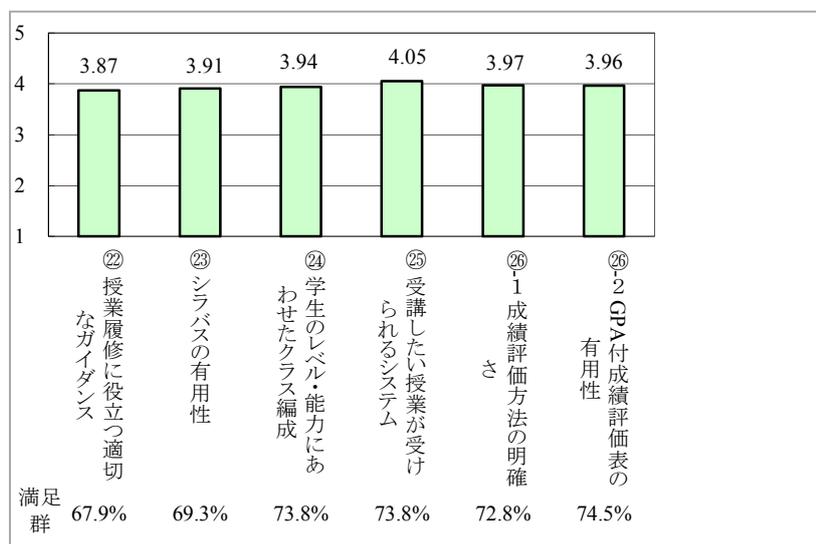


図5 評価・カリキュラムについての満足度

3.6 情報提供についての満足度

「情報提供カテゴリ」では、「28. ホームページなどによる大学の教育・研究活動の情報提供」の平均値が4点以上と満足度が高かった。

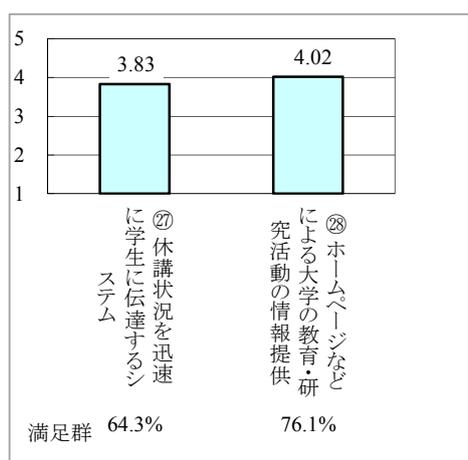


図6 情報提供についての満足度

3.7 学生サポートについての満足度

「学生サポートカテゴリ」では、どの項目も平均値が4点以上と満足度が高かった。「32. ボランティア、課外活動などの社会活動に対する大学の支援」は、80%の学生が満足していることが示された。

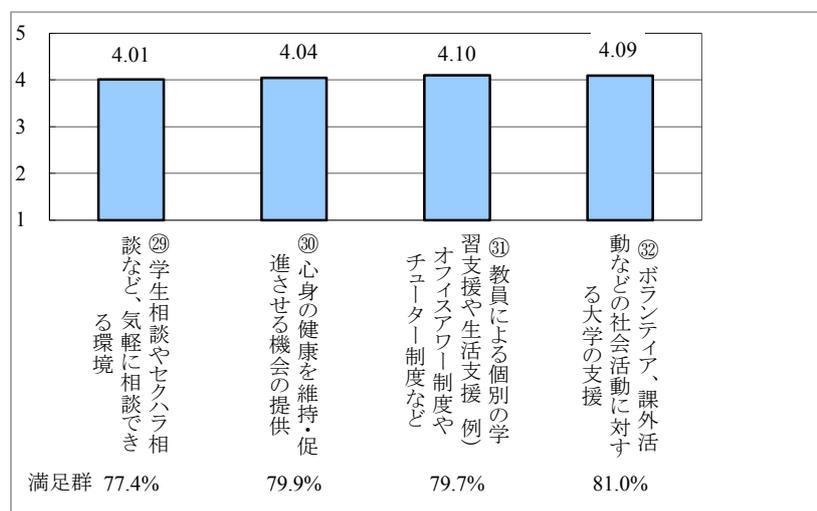


図7 学生サポートについての満足度

3.8 授業についての満足度

「授業カテゴリ」では、満足度の高い項目が多かった。特に、「35. 共通教育の保健体育関連授業」や「36. 33～35 以外の共通教育の授業」、「38. 幅広い教養を身につけられる教育の提供」、「39. 学部専門の授業」、「42. 実習をともなう授業」、「45. 卒業研究指導」などの平均値は非常に高く、80%以上の学生が満足していることが示された。様々な種類の授業に対して非常に多くの学生が満足しているということである。

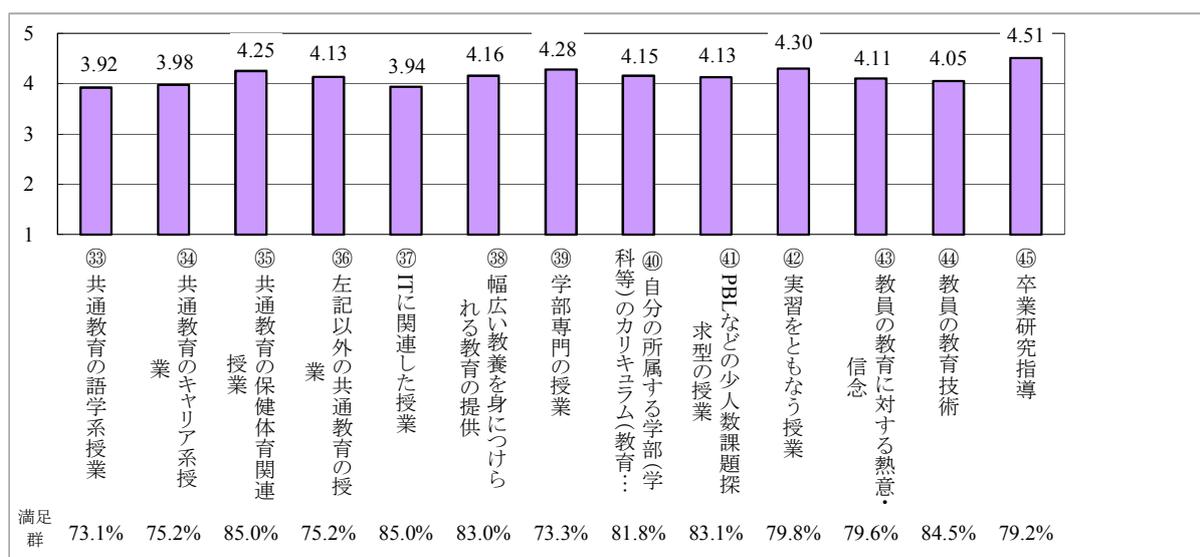


図8 授業についての満足度

第Ⅱ部 大学院生対象

1. 調査目的

三重大学の中期目標を達成するための措置として、平成 24 年度終了時の学生の満足度の実態を把握し、今後の三重大学大学院の教育改善に資するための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査概要

- (1) 調査対象 三重大学大学院に在籍する休学者を除く全ての大学院生
- (2) 調査時期 平成 24 年 12 月～平成 25 年 1 月（一部の研究科のみ 4 月まで延長）
- (3) 調査方法 質問紙調査と三重大学ウェブ調査システムによる調査（以下、ウェブ調査と表記）の 2 種類の方法のうち、学生がどちらか一方を選択して回答した。
- (4) 分析対象者 有効回答者数名 419 名（33.8%）から、修士・博士前期課程の在籍年数が 3 年目以上の学生と博士・博士後期課程の在籍年数が 4 年目以上の学生を除いた 394 名を分析対象者とした。

表1.2.1 分析対象者数

	人文 社会 科学	教 育 学	医 学 系	工 学	生 物 資 源 学	シ 域 イ ン フ ル メ ン ト	合 計
修士・博士前期	8	28	20	217	70	10	353
博士・博士後期	-	-	28	8	3	2	41
合計	8	28	48	225	73	12	394

3. 結果

結果について

三重大学大学院の教育に関する 23 項目について、平均値と満足群を算出した。

- (1) 平均値：満足度を表す 6 段階評価の中からあてはまるものを 1 つ選択させた。「非常に不満」を 1 点、「不満」を 2 点、「やや不満」を 3 点、「やや満足」を 4 点、「満足」を 5 点、「非常に満足」を 6 点とし、平均値を算出した。平均値が高いほど、満足度が高いことを表す。各項目に対して学生が経験したことがない場合や知らない場合のために満足の 6 段階とは別に「回答できない」という選択肢を設けた。集計の際、このデータについては、欠損値（無回答）と同様に扱った。
- (2) 満足群：6 段階評価のうち、「やや満足」もしくは、「満足」、「非常に満足」のいずれかに回答した学生の割合を満足群とした。

3.1 大学全般についての満足度（修士・博士前期課程）

「大学全般カテゴリ」では、「2. 三重大学大学院の研究水準」や「4. 事務職員の窓口での学生対応」に対して平均値が高く、また80%以上の学生が満足していることが示された。

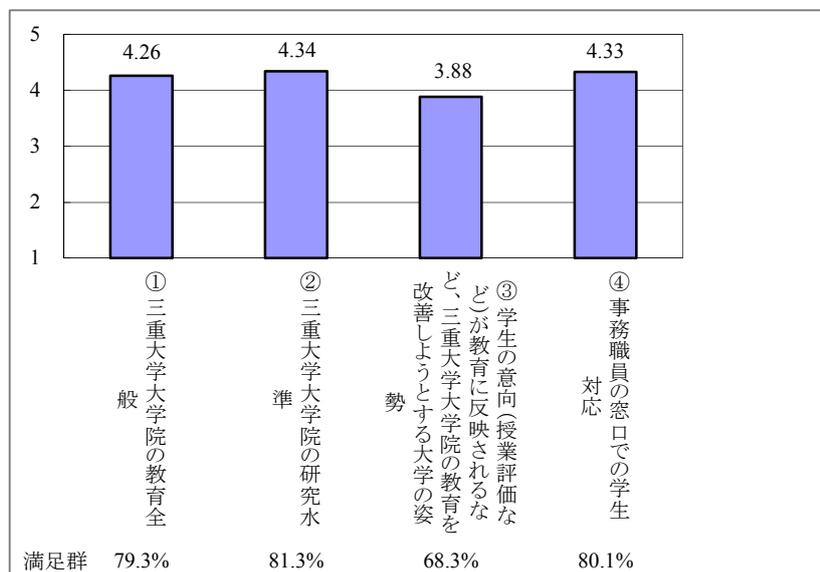


図9 大学全般についての満足度（修士・博士前期課程）

3.2 大学院の教育についての満足度（修士・博士前期課程）

「大学院の教育カテゴリ」では、どの項目も満足度が非常に高かった。特に「8. 最先端の研究や高度専門知識の教授」、「10. 日常的な研究指導」、「11. 学位論文指導」の平均値が高く、満足群については、85%以上の学生が満足していることが示された。

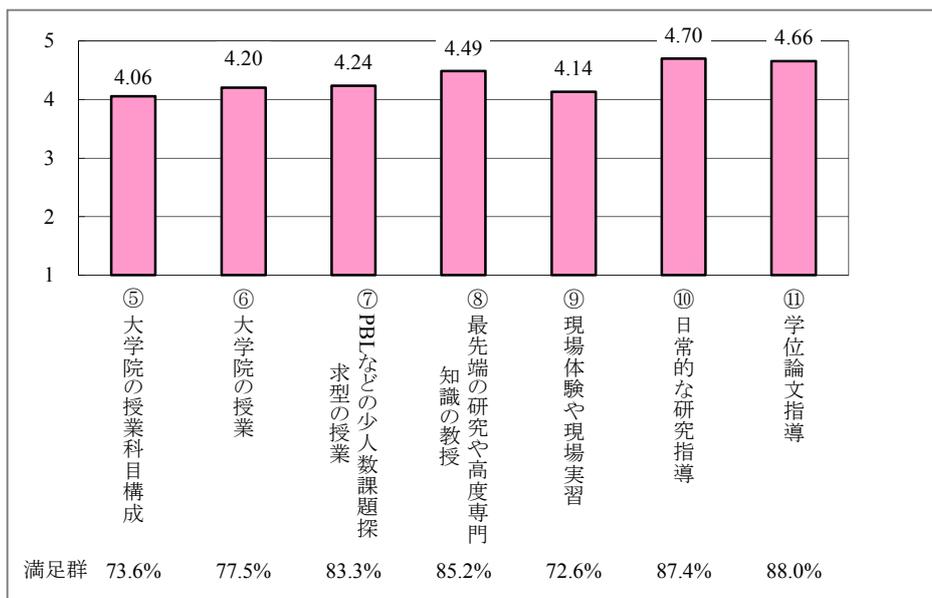


図10 大学院の教育についての満足度(修士・博士前期課程)

3.3 研究環境についての満足度（修士・博士前期課程）

「研究環境カテゴリ」では、「15. 研究室内の人間関係」の平均値が非常に高く、90%以上の学生が満足していることが示された。

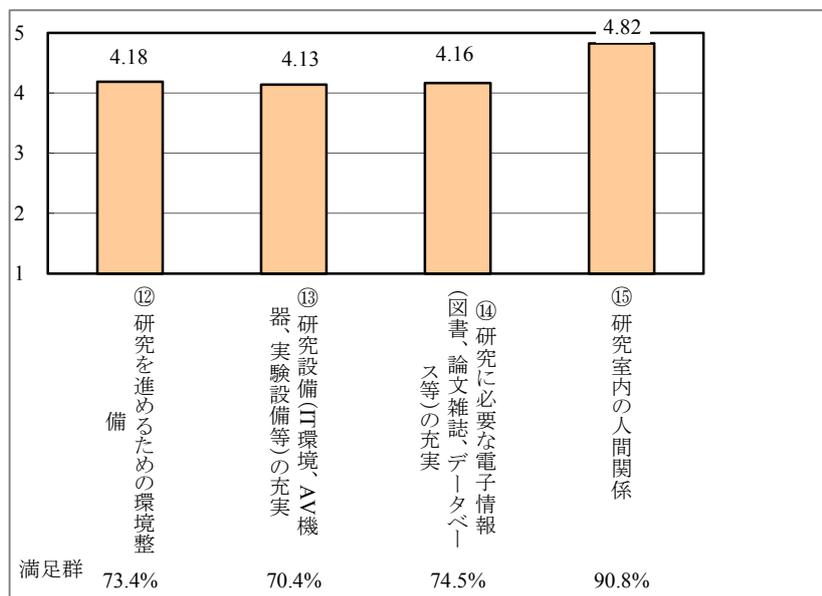


図11 研究環境についての満足度（修士・博士前期課程）

3.4 学生サポートについての満足度（修士・博士前期課程）

「学生サポートカテゴリ」では、他のカテゴリ内の項目と比較すると、顕著な特徴が見られなかった。その中では、「23. 研究を進めるための財政支援（奨学金制度等）」に対して、80%以上の学生が満足していることが示された。

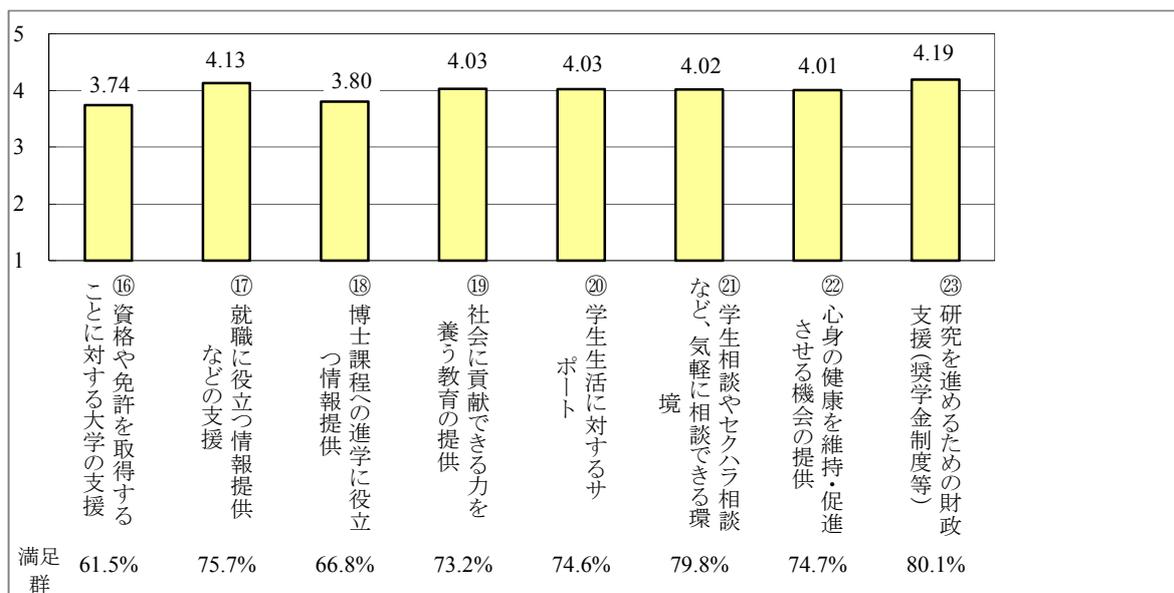


図12 学生サポートについての満足度（修士・博士前期課程）

3.5 大学全般についての満足度（博士・博士後期課程）

「大学全般カテゴリ」では、「2. 三重大学大学院の研究水準」や「4. 事務職員の窓口での学生対応」の平均値が高かった。

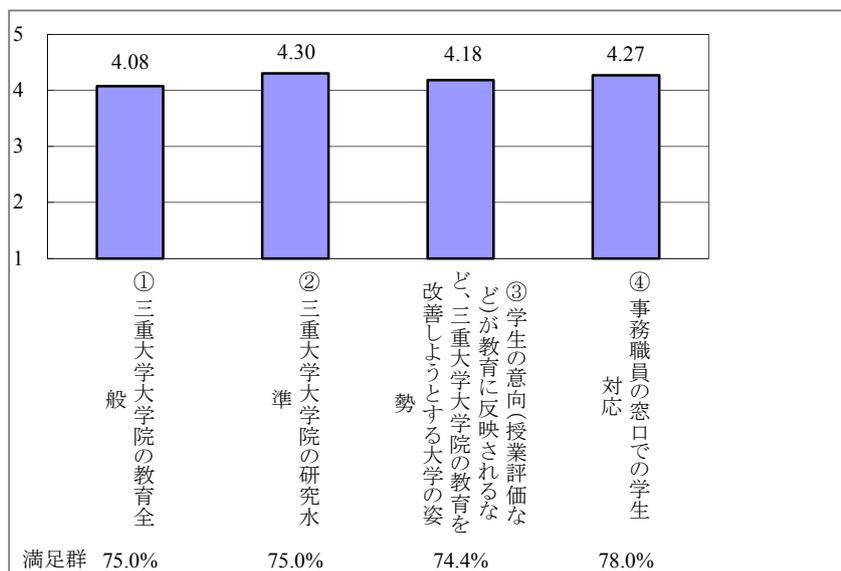


図13 大学全般についての満足度(博士・博士後期課程)

3.6 大学院の教育についての満足度（博士・博士後期課程）

「大学院の教育カテゴリ」では、どの項目も平均値が高く、80%の学生が満足しているという項目も多く見られた。特に満足度が高かったのは、「7. PBLなどの少人数課題探求型の授業」や「8. 最先端の研究や高度専門知識の教授」、「10. 日常的な研究指導」、「11. 学位論文指導」などであった。

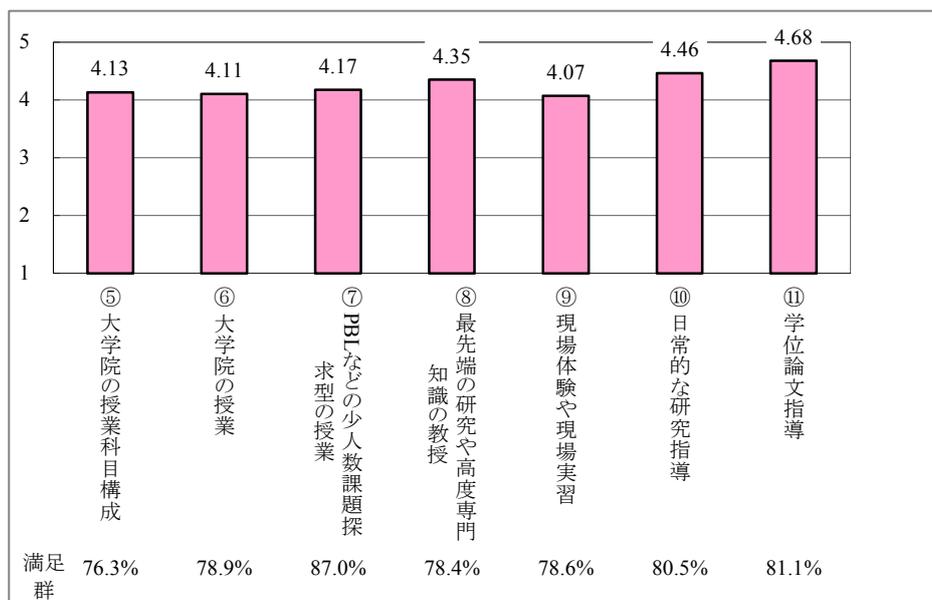


図14 大学院の教育についての満足度(博士・博士後期課程)

3.7 研究環境についての満足度（博士・博士後期課程）

「研究環境カテゴリ」では、どの項目も平均値が非常に高かった。「12. 研究を進めるための環境整備」や「15. 研究室内の人間関係」は、80%以上の学生が満足していることが示された。

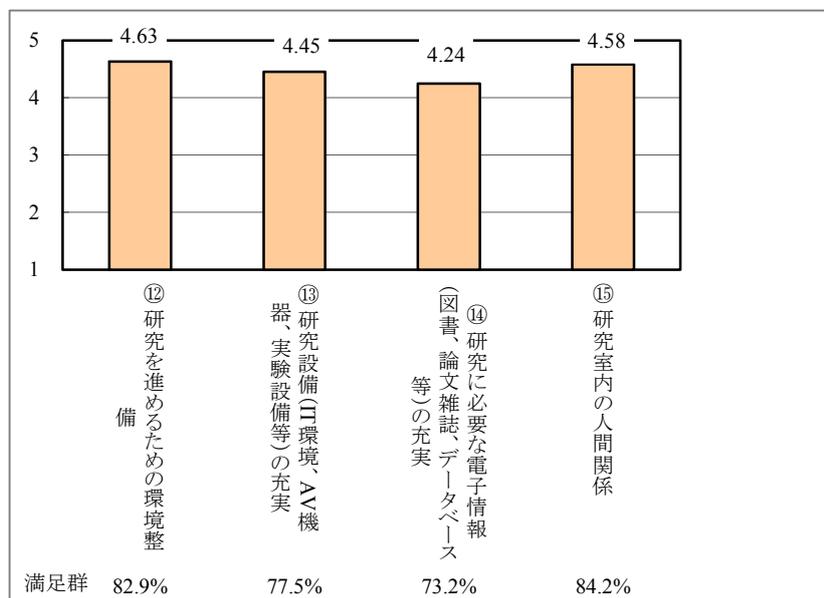


図15 研究環境についての満足度（博士・博士後期課程）

3.8 学生サポートについての満足度（博士・博士後期課程）

「学生サポートカテゴリ」では、他のカテゴリ内の項目と比較すると顕著な特徴が見られなかったが、「21. 学生相談やセクハラ相談など、気軽に相談できる環境」について、80%以上の学生が満足していることが示された。

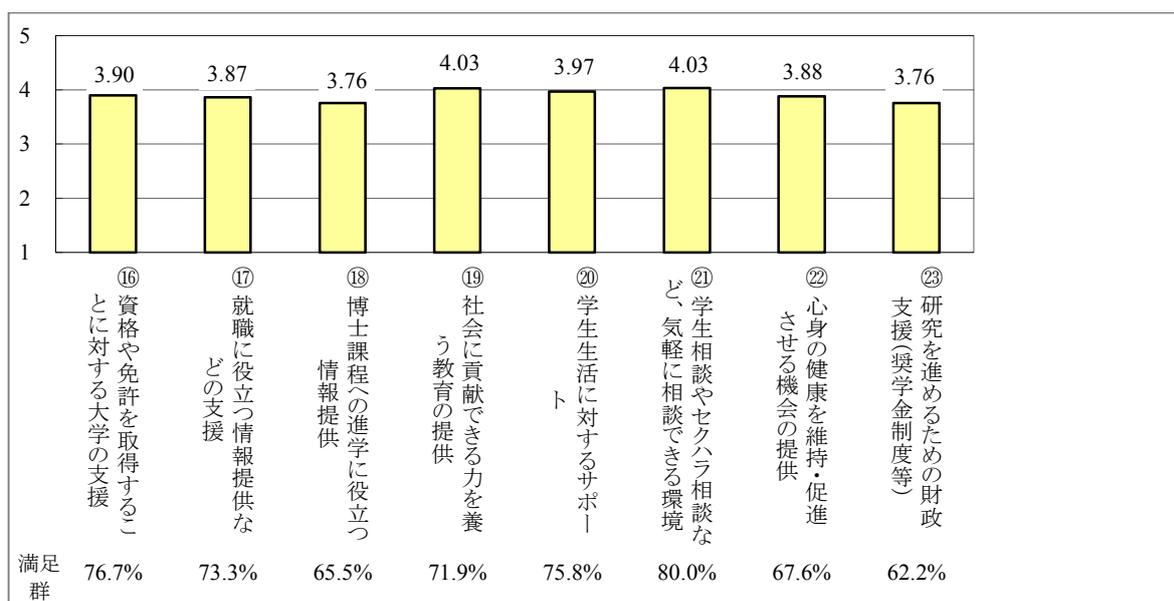


図16 学生サポートについての満足度（博士・博士後期課程）